

学校だより

小川中学校

No. 1 O

平成27年 7月7日

文責：校長 佐藤正則

夏！プール授業始まる！



夏らしくない過ごしやすい日々が続いていますが、体育ではプール授業が始まっています。今年は、プール修繕の関係で1学期のみの使用となりましたので、日を惜しみ、少々気温が低くても実施しています。生徒たちは、冷たさに負けず、元気に授業を受けています。

ネパール人に伺いました！

磐城学芸高等専門学校の留学生2人来校

現在、本校では JRC 委員会が中心となって「ネパール地震募金」活動を行っています。

前に、磐城学芸高等専門学校の畑校長とお話した時、専攻科にネパールからの留学生が5人ほどいる、と伺い機会があったら生徒たちの視野を広げるため、ネパール人の方のお話を聞く機会を設けたいと考えていましたが、募金に合わせて、7月2日、短時間でしたが急ぎよ行いました。



薬物乱用は、ダメ。ゼツタイ

7月2日、タローファーマシーの薬剤師、長谷川祐一先生を講師に行いました。今回は、たばこの害を中心に話をいただきました。

先生のお話では、震災後、いわき市の喫煙率が全国1位となり、健康問題や医療費問題など様々な問題が出てきているとのことです。タバコ以外の違法薬物も身近にあり、問題となっています。これからも現実をよく知り、しっかりした判断力を身に付けて健康に生活できる力を育てていきたいです。



生徒感想

3年女子

今日の教室で、タバコであんなに肺が汚れてしまうことに驚きました。幸い、私の周りにタバコを吸う人は全くいませんが、私もそれを引き継いで、全員健康な家族にしたいです。

また、高校に行くと、そういうトラブルも多くなってしまおうですが、絶対に断りたいと思います。

言葉は言霊！プラス表現を！

学力を上げる秘訣その1

7月1日に3年生の第1回学力テストがありました。夏休みを前に、受験モードに入った3年生が見られ、職員室に質問にも来ています。とても良いことです。

さて、ほとんどの生徒は、駅伝を除き夏休み中には部活動を引退し受験モードへ切り替えることとなります。そこで、効果的に学力を上げる方法について考えてみました。

言葉は言霊、力あるもの！

「勉強はしているのになかなか成績が上がらない、」と思い悩み相談してくる生徒や保護者の方がいます。多くの場合、「繰り返しの法則」が悪い方向に向かっているのです。

繰り返しの法則は、「覚えるためには、繰り返しやる」という意味がありますが、この場合は、「繰り返された言葉はその通り実現される」ということを指します。

成績のふるわない生徒は、マイナス表現が口癖となっていることが多いです。「私はバカだから」「勉強が嫌いだから」「記憶力が悪いから」

「〇〇教科は嫌いだから」「かったるい」等々。こうしたマイナス発言は、心理的に強い暗示となります。「数学は嫌いだから」が口癖の生徒は、いくら数学を勉強しようとしても「心が拒否」するため、身につけません。自分の言葉で自分を追い込んでしまっているのです。



繰り返しの法則を上手く使う心がけ！



マイナス発言が口癖の生徒は、周りの大人たちがその生徒に向かって日常的にマイナス表現を使っているために、暗示となり、癖になっていることがほとんどです。保護者の皆さんの「言い回し」はどうでしょうか？

これは、学校でも同じなので、「認め、ほめる」ことを生活指導の基本にしているのはそのためです。

ただし、マイナス表現は受け入れやすいのですが、プラス表現はなかなか信用せず、受け入れるまで時間がかかることを知っておく必要があります。

言葉は、行動を駆り立てる非常に強力な武器ですが、使い方、破壊的な結果ももたらします。

人の体や心を傷つけたり、人の道に反する行いは、徹底して叱らなければなりません。日常的には人を元気にさせる言葉や勇気を与える言葉、希望を持たせる言葉がけが大切です。

お待たせしました。授業参観です！

お待たせいたしました。今年度初めての授業参観を、7月13日(月)に実施します。今回の授業は、どの学級も道徳の授業です。

今年度、11月に行われる市中学校教育研究会の道徳部会が本校で開かれ、道徳の授業を公開することになっています。また、県教育委員会からいわき地区の道徳教育推進校にも指定されていて、道徳の時間の指導の仕方について、研究を進めているところです。その一端をご覧いただければと思っています。

授業参観後は、学級、学年懇談となります。夏休み前、有意義な夏休みと2学期以降の生活の向上につながるよう、話し合いたいと思っていますので、よろしくお願いします。